

平成 29 年 黒部市教育委員会 12 月臨時会 議事録

開会年月日 平成 29 年 12 月 4 日（月）午後 1 時 30 分～4 時 15 分
会場 黒部市役所 教育長室
会議の種類 臨時会

出席者 教育長 国香 正稔
教育委員 熊野 勝巳（教育長職務代理者）
教育委員 川崎 正美
教育委員 前田 潤
教育委員 加藤 昌弘

出席職員 教育部長 長田 行正
次長・学校教育課長 鍋谷 悟
学校教育課主幹・庶務係長 神保 竜

教育長 只今から、教育委員会 12 月臨時会を開会します。
本日は、協議事項として「黒部市立中学校の統合にかかる学校名の選考について」協議を行い、その後、「議案第 20 号 黒部市立宇奈月中学校及び桜井中学校の統合中学校の校名について」、「議案第 21 号 黒部市立鷹施中学校及び高志野中学校の統合中学校の校名について」ご審議賜りたいと思います。
まず、学校名の選考について、協議したいと思いますが、事務局から説明願います。

事務局 中学校統合準備委員会で協議が進められておりました、統合中学校の校名についてであります。本題に入る前に、これまでの経過を説明します。
まず、6 月に第 1 回会議として準備委員会を設立し、7 月に小中学校児童生徒から、8 月には一般からの校名募集を実施し、応募人数 1091 人、応募総数 1688 票と大変多くの提案をいただきました。9 月には集計作業を行い、10 月には、集計結果を参考に第一次協議として第 2 回会議を開催し、11 月 2 日に第 2 次協議、15 日に 3 次協議と絞込みを進め、11 月 30 日には、4 次協議を行い準備委員会としての最終協議を行いました。
本日、協議資料として提示しておりますのは、準備委員会からの最終候補案ということになります。両統合校区ともに 3 つの候補が提出されており、最終決定については教育委員会にお願いしたいということでもあります。
◇宇奈月・桜井統合校区 1 清風、2 明峰、3 桜月
◇鷹施・高志野統合校区 1 明泉、2 清明、4 清泉
校名の選考については、学校再編において最も重要な案件でありますので、協議が整い次第、議案として取り扱い、決定したいと考えております。

教育長 只今説明がありました、我々、教育委員会において、最後の一つに決定するというところであります。
なお、参考までに校名選考において、黒部市の先例となる「桜井小学校」、「たかせ小学校」の場合も同様の方法で決定された経緯があります。
委員には、提示された各 3 候補について、ご協議いただきたいと思いますが、ご意見、ご質問等ありましたら願います。

委員	各3候補となるまでの協議経過は、具体的にどのように進められたのか。
事務局	<p><協議の概要と進捗></p> <p>【第1次協議（10月5日：第2回）】</p> <p>○検討にあたっての視点協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の視点で検討を進めていくこととした。 <p>○絞込方法の協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・膨大な候補数のため次の観点から消去法を用いながら絞込みを行った。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 序列的な候補（「第一」、「第二」などの数字）を除く 2) 県内に存在する校名を除く（「清流」魚津市など） 3) 地区名は除く（校区が広範囲のため、一部の地区名はなじまない） 4) 客観的に校名に相応しくないと判断されるものは除く <p>【第2次協議（11月2日：第3回）】</p> <p>○委員によるピックアップ作業（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絞込みと並行し、ピックアップ作業（拾い上げ）を行った。 ・作業の結果、約300前後の候補が約80前後となった。 <p>【第3次協議（11月15日：第4回）】</p> <p>○委員によるピックアップ作業（2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約80前後の候補について、再度ピックアップ作業を実施した結果、候補数約50前後となった。 <p>【第4次協議（11月30日：第5回）】</p> <p>○正副委員長、事務局による候補案の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次までの協議を踏まえ、第4次協議に向けた絞込みを行うため、委員了承のもと正副委員長及び事務局協議において、次の観点からピックアップ作業と消去法を併用した絞込みを実施した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第3次協議において一票のみの候補を除く（※良いものと判断されれば残す） 2) 黒部市全体を代表するイメージとなる「黒部」は除く 3) 県内外に多数存在する方角（東西南北）を冠した候補は除く 4) 当て字、読みが難しい、紛らわしい候補は除く 5) 非常用漢字、中学校で習わない漢字の候補は除く（煌、峯など） ・上記により第4次協議に諮った結果、各8候補について委員投票を行った。 ・投票結果の上位「3候補」を準備委員会としての最終候補案とし、以降の最終決定を教育委員会に委ねることです承された。以上。
教育長	これらを踏まえ、協議したいと思います。
委員協議	<p><以下、準備委員会での意見を踏まえての協議概要></p> <p>◇宇奈月・桜井校区の候補についての意見</p> <p>1 清風（せいふう）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現校名にとらわれない新しい校名として公募時から上位にある。 ・清い風は、黒部川の爽やかな川風やあいの風を連想させ高台に立つ校舎にも合う。 ・「清い」は、他の漢字と組み合わせても良いイメージを与える。 ・鷹施、高志野の候補「清明」「清泉」とは、第一文字の「清」が重なってしまう。 ・校名としては、どちらの学校にも当てはまることから、意味づけや願いの観点では、印

象が弱い。

2 明峰 (めいほう)

- ・準備委員会委員の発議による候補。一般公募では「名峰」があるが、「名」は、名水や名前など一般的な語句に使用される。校名に使用するために、意味合いや願いを込め、明るい「明」とされたもの。
- ・2校のうち山側にあることから、「峰」はイメージしやすい。
- ・校舎から望む、山々に陽が昇る景色は、“明るく気高い峰の姿”である。子どもたちには、社会を明るく照らし、学校から望む峰々のように気高い人生を歩んでほしいとの願いが感じられる。
- ・新しい学校が誕生するという観点から、新しい校名とすることが望ましい。

3 桜月 (さくらづき)

- ・公募において最も多くの票を得た候補であり、準備委員会での協議においても最終候補に残った。
- ・現校名の組合せを意識した候補の代表格であり、「桜」と「月」の個々のイメージが良く、組み合わせた場合に“弥生3月の別称”の意味を持つ。春は中学生に相応しい季節である。
- ・「さくらづき」が読みにくい感じがするが、慣れれば違和感はなくなる。
- ・略称が「桜中」になることから「桜井中学校」のイメージが色濃く残ってしまう。

◇鷹施・高志野校区の候補についての意見

1 明泉 (めいせん)

- ・準備委員会の第4次選考で提案された候補。当校区では「名水・湧水・清水」などの水に関する候補が多いが、いずれも一般名詞であり、代わりに水が湧き出る意味を持つ「泉」と明るさの「明」を組合せたもの。
- ・「泉」は、生徒の溢れ出る知恵、生命力に例えられる。
- ・「泉」は、「温泉」を思わせるところもあり、読みの「めいせん」は、有名な温泉「名泉」と重なり、宇奈月温泉を連想してしまう。

2 清明 (せいめい)

- ・清く明るい、万物に清新の気がみなぎる時期などの意味があり、生徒への願いとして校名に託しやすい。
- ・清くて明るい学校を目指す意味で、公募にはなかったが、委員提案により最終選考に残った経緯がある。
- ・読みの「せいめい」は、生命などの生き生きとしたイメージを与える。
- ・格調の高さを持ち合わせ、ものごとに対し清く接し、何事にも明るく振舞える人間に育ってほしいという願いが感じられる。

3 清泉 (せいせん)

- ・一つ一つの漢字はイメージが良い。「泉」に関し「明泉」同様に温泉のイメージがある。
- ・「せいせん」には、いろいろな同音異義語が存在する。
- ・水のイメージは強いが、中学生に望むイメージが少ない。

◇総合的な観点からの意見

- ・最終候補6件中、3件が「清」から始まるが、両校が同じ頭文字となるのは避けたい。
- ・2校が同時開校する特異な条件下であり、バランス面は無視できない要素である。
- ・現校名の組合せについては、相応の理由が必要であり慎重を要する。
- ・それぞれの選択理由に無理がないもので、統合の重みに鑑み、より多くの市民が受け入れられる選択が望ましい。
- ・統合準備委員会での協議内容、選考過程を尊重しなければならない。

(上記の協議を経、教育委員会の校名案を決定した。内容は、下記議案のとおり。)

教育長

引き続き議案の審議に移ります。(事務局から議案配布)
ただいまの選考協議の結果を受けた議案であります。

まず、「議案第20号 黒部市立宇奈月中学校及び桜井中学校の統合中学校の校名について」であり、同校名を「明峰中学校」とするものであります。ご異議ありませんか。

委員

(異議なし)

ご異議なしと認め、「議案第20号 黒部市立宇奈月中学校及び桜井中学校の統合中学校の校名について」は、「明峰中学校」とすることに決定しました。

教育長

次に、「議案第21号 黒部市立鷹施中学校及び高志野中学校の統合中学校の校名について」であり、同校名を「清明中学校」とするものであります。ご異議ありませんか。

委員

(異議なし)

教育長

ご異議なしと認め、「議案第21号 黒部市立鷹施中学校及び高志野中学校の統合中学校の校名について」は、「清明中学校」とすることに決定しました。

以上で、中学校統合にかかる校名の選考協議及び議案の審議を終結します。

委員の皆様には、公募結果の再確認、5回にわたる準備委員会の協議経過や意見を十分に斟酌いただき、長時間にわたりご協議賜りました。

この度の校名選考は、2つの統合が同時進行するという、希なケースであったと思います。教育委員会としても、校名としての相応しさ、校名に託す意味や願いを重視するとともに、子どもたちの明るい未来に向けた、新しいスタートに相応しい選択ができたと確信しております。本日の協議を無事終えられたこと、また、この協議に参画できたことに感謝申し上げます。

最後に今後の事務手続きについて、事務局から説明してください。

事務局

本日の教育委員会議(12月臨時会)の決定を受け、学校設置者である市長に報告するとともに、これまで検討にご尽力いただきました中学校統合準備委員会委員の皆様にも文書にて報告する予定です。

その後、明日12月5日から始まる市議会12月定例会の最終日(12月20日)に開催される市議会全員協議会において、校名協議の経過と結果を報告する予定です。

また、全員協議会には、報道機関が傍聴しており、事実上の公表となります。

なお、黒部市立学校の校名は、「黒部市立学校設置条例」に定められており、正式には、この条例の一部改正が必要であり、市議会の議決をもって確定することになります。直近の議会は、黒部市議会3月定例会ということになります。

教育長

公表という意味では、12月20日、手続き上の正式決定は3月議会ということでありま
す。以上で、12月臨時会を閉会します。

議事録調製 学校教育課主幹・庶務係長 神保 竜

平成29年12月26日

署名人 黒部市教育委員会教育長 国 香 正 稔